

第56回 桑名別院 暁天講座

2022年7月18日(月)～22日(金) 早朝6:20～7:30まで

<p>18日(月)</p>	<p>講師：^{あらかやま じゅん}荒山 淳 氏(名古屋教区教化センター主幹/名古屋教区恵林寺副住職) 講題：「一息の頃に一いたずらに後悔を貽すことなかれ」</p>
<p>1961年、愛知県名古屋市に生まれる。同朋大学文学部仏教学科卒業。真宗本廟同朋会館嘱託補導歴任後、教導。尾張学園名古屋・豊田大谷高校講師。現在、真宗本廟楽僧取締。真宗大谷派名古屋教区教化センター主幹。清和会館仏教講座講師。名古屋教区恵林寺副住職。著書に、『世のいのりに心いれて一耳の底に留むる親鸞の言葉』(樹心社)。</p>	
<p>19日(火)</p>	<p>講師：^{おおはし ゆかこ}大橋由香子 氏(フリーライター) 講題：「生む・生まない・生めないー『サイラス・マーナー』と優生保護法から考える」</p>
<p>出版社勤務を経てフリーライター・編集者、大学非常勤講師。著書『満心愛の人 フィリピン引き揚げ孤児と育ての親』インパクト出版会、『ニブ・サンブ・ハノハの日々』社会評論社、『生命科学者 中村桂子』(理論社)ほか。共編著『福島原発事故と女たち』梨の木舎、『異文化から学ぶ文章表現塾』新水社ほか。光文社古典新訳文庫サイトで「字幕マジックの女たち 映像×多言語×翻訳」を、雑誌『エトセトラ』で「Who is she?」を連載中。雑誌『世界』2022年6月号(岩波書店)に優生保護法の国賠訴訟について寄稿。</p>	
<p>20日(水)</p>	<p>講師：^{ゆずり さいけん}譲 西賢 氏(岐阜聖徳学園大学名誉教授/大垣教区慶円寺住職) 講題：「私の中の多様性」</p>
<p>1953年岐阜県に生まれる。1975年名古屋大学教育学部教育心理学科卒業。1981年名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程後期課程満了。現在、大垣教区慶円寺住職、岐阜聖徳学園大学名誉教授、臨床心理士。著書に、『自分の「心」に気づくとき』(法蔵館)、『暮らしに役立つ真宗カウンセリング術』(法蔵館)、『ベーシック心理学』(医歯薬出版)など多数。</p>	
<p>21日(木)</p>	<p>講師：^{みづら しんや}三浦伸也 氏(NPO法人ほがらか絵本畑 理事長/(株)ほがらかカンパニー 代表取締役社長) 講題：「子どもから学んだ、しあわせの見つけ方」</p>
<p>1962年生まれ。三重県菰野町在住。四児の父。少林寺拳法の本部職員からベンチャー企業のビジネスマンに転身。そんな折、旧友との出会いで絵本と子どもの世界に魅了される。全国の子どもたちとの出会いだけではなく、ニュージーランドにも出向き、現地の子どもたちに絵本を読んで現地教育機関との関係を深め、毎年、日本から参加者を募って、現地の保育・教育の現場を見るツアーを企画している。東日本大震災の際は、毎月、陸前高田に出向き、子どもたちに絵本ライブを行い、子どもや大人の笑顔を引き出す活動を数年間続けた。2018年4月からは、発達に不安がある子どもたちを育む療育の事業所「ほがらかファミリー音羽」を開設。2022年4月から、もうひとつ「ほがらかファミリー菰野」を開設。著書『いつだって子どもがいちばん』(自由国民社)</p>	
<p>22日(金)</p>	<p>講師：^{ふじはら まさとし}藤原正寿 氏(大谷大学准教授/金沢教区浄秀寺住職) 講題：「人はなぜ傷つけ合うのか」</p>
<p>1963年石川県生まれ。大谷大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。真宗大谷派親鸞仏教センター研究員、真宗大谷派教学研究所所員を経て、現在、大谷大学准教授(真宗学)、金沢教区浄秀寺住職。【著書】『キリシタンが見た真宗』『清沢満之-生涯と思想-』【共著】『書いて学ぶ親鸞のことば-正信偈-』(いずれも「東本願寺出版」)。『現代における真宗の人間像』など。</p>	



真宗大谷派(東本願寺)

桑名別院 本統寺

〒511-0073 三重県桑名市北寺町47番地

TEL (0594)-22-0652

FAX (0594)-22-0681

メール kuwanabetsuin@gmail.com

全日 開門 6:00 / 閉門 17:00

(寺務所 平日 9:00~17:00)


